

令和元年度第1回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和元年8月21日(水)

午前9時30分より

場 所 名張市武道交流館いきいき多目的ホール

出席者：(敬称略)

(1) 委員

- 池田 守 (市民公募)
- 石川 裕三 (市民公募)
- 澤田 恭子 (市民公募)
- 室谷 芳彦 (地域づくり代表者会議副会長)
- 津田 末子 (名張市老人クラブ連合会女性部副会長)
- 細川 智之 (名張市保育所(園)認定こども園保護者会連絡協議会会長)
- 辻 ふみ子 (名張市身体障害者互助会スポーツ担当部長)
- 松本 幸正 (名城大学理工学部教授)
- 中平 恭之 (近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科准教授)
- 山本 恒平 (代理出席、近畿日本鉄道株式会社総合企画本部計画部課長)
- 川端 邦裕 (三重交通株式会社伊賀営業所所長)
- 深山 桂右 (深山運送有限会社名張エフバス営業所所長)
- 川瀬 和也 (代理出席、株式会社メイハン常務取締役)
- 豊永 育子 (公益社団法人三重県バス協会)
- 森澤 淳 (三重交通労働組合伊賀支部支部長)
- 森木 忠彦 (伊賀建設事務所副所長)
- 河本 直紀 (三重県名張警察署交通課長)
- 世古 沙織 (代理出席、国土交通省中部運輸局三重運輸支局運輸企画専門官)
- 藤野 和輝 (代理出席、三重県地域連携部交通政策課主事)
- 前田 國男 (名張市副市長)
- 谷本 浩司 (名張市都市整備部部長)
- 田中 明子 (名張市地域環境部長)

(2) オブザーバー

- 福山 悦子 (名張市民生委員児童委員協議会連合会副会長)
- 高柿 弘義 (代理出席、国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課係長)
- 山室 明 (代理出席、三重県県土整備部都市政策課都市計画班主幹)

(3) 事務局

都市整備部都市計画室 4名

会議の公開・非公開 : 公開

傍聴人 : 0名

報告案件 : ①緑が丘コミュニティバス「みどり号」の運行時刻の変更について

②東豊地域コミュニティバスの運行時刻の変更について

③コミュニティバスの大型連休中の運行について

協議案件 : ①役員の選任について

②平成30年度事業報告について

③平成30年度収支決算について

④事業進捗管理・評価について

⑤令和元年度事業計画(案)について

⑥令和元年度収支予算(案)について

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

協議案件①

事務局 資料1の最終ページをご覧いただきたいと思います。名張市地域公共交通会議には、2つの役割がございます。それぞれ、バス路線・運賃の変更に係る道路運送法に基づくもの、各種計画の策定や運用に係る地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく会議、それぞれに役員を決めさせていただきたいと思います。まず、活性化再生法に基づく会議といたしまして、規約第5条第3項に基づき副会長、座長、監事2名を委員の中から互選することとなっております。委員の選任について皆さまにお諮りしたいと思いますが、当方からの提案とさせていただきますよろしいでしょうか。

委員一同 異議なし

事務局 ありがとうございます。それでは事務局からの提案といたしまして、前回に引き続き、副会長兼座長に松本委員、監事に森木委員と室谷委員を推薦させていただきますが、いかがでしょうか。

委員一同 異議なし

事務局 それでは副会長兼座長を松本委員、監事を森木委員、室谷委員にお願いしたいと思います。

事務局 続きまして、道路運送法に基づく会議の役員については、名張市地域公共交通会議設置要領第5条に基づき、会長、副会長を委員が互選することとなっております。委員の選任について同様に皆さまにお諮りしたいと思いますが、当方からの提案とさせていただきますよろしいでしょうか。

委員一同 異議なし

ありがとうございます。それでは、事務局提案として、こちら前回に引き続き会長として中平委員、副会長として谷本委員を推薦させていただきますが、いかがでしょうか。

委員一同 異議なし

事務局 ありがとうございます。それでは、会長を中平委員、副会長を谷本委員にお願いしたい

と思います。

それでは松本座長様、お席の移動をお願いいたします。

以降の進行につきましては、規約第6条第3項に基づき松本座長にお願いしたいと思います。松本座長から一言ご挨拶を頂戴したいと思います。

松本座長 あいさつ

座長 それでは、協議に移ります前に、役員の選任に関して、資料1にございますが、事業推進部会の構成員につきまして、設置要領の第3条に部会の構成員は会長が指名する者及び名張市地域公共交通会議が必要と認めるものとございます。委員の改選もございましたので、改めて会長よりご指名をいただきたいと思います。

会長 (指名)

座長 ありがとうございます。今、ご指名があった方々は事業推進部会員になっていただくということで、よろしくをお願いいたします。

それでは、中平委員席の移動をお願いいたします。中平委員は道路運送法に基づく会長と事業推進部会の部会長にも指名されております。一言ご挨拶をお願いいたします。

中平委員 あいさつ

座長 では、協議に入ります。本日の会議の公開についてですが、規約第8条第5項の規定により、次の案件から公開するものとし、公開による方法は傍聴によるものとしますが、本日傍聴はございますか。

事務局 傍聴定員10名に対して、本日傍聴希望者はございません。

座長 傍聴はないということでしたが、会議自体は公開ということで進めさせていただきたいと思っております。それでは、お手元の次第に従いまして、報告案件3件、協議案件6件でございます。では、報告案件3件続けて事務局から続けてご説明願います。

報告案件①②③

事務局 (報告資料1～3をもとに説明)

座長 ありがとうございます。何かご質問ご意見ありましたらいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。特に10連休でバスが無いのは困ったことだと思いましたが、このように対応していただいたことに敬意を表したいと思います。続きまして、協議案件に移りたいと思います。協議案件2, 3の平成30年度事業報告と収支決算ともに関連いたしますので続けてご説明をお願いいたします。

協議案件②③

事務局 (資料2-1～2-3, 3に基づき事務局より説明)

<監査報告>

委員 平成30年度監事の室谷でございます。今、ご案内をいただきました通り、名張市地域公共交通会議規約第6条第4項により、平成30年度名張市地域公共交通会議会計について監査

をいたしました。監査の日にちは元年8月9日であります。慎重に監査をいたしました結果、内容は適正なものと認めましたので、報告申し上げます。

座長 ありがとうございます。以上、昨年度行った事業の内容、この会議、事業推進部会、連携協議会の内容と、それに対する決算と監査報告でございました。これに関してご意見ご質問等あればいただきますが、いかがでしょうか。事業推進部会から補足などありますか。

委員 補足というほどではありませんが、事業推進部会では網形成計画に従い毎回検討をさせていただいております。この後話が出てくると思いますので、その際にお答えしたいと思います。

座長 ありがとうございます。連携協議会はいかがですか。

委員 連休中の運行はたっこ号でも行い、1日にこれだけ乗りました。コミュニティバスは地域密着型というのが大前提に行っておりまして結果としてよかったかなと自負しています。

座長 ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。それからこの事業に関しましての決算を先程ご報告いただきましたが、これについてもよろしいでしょうか。それでは、特にご異論等ないようですので、決算に関してこの会議で承認いただいたということでもよろしいでしょうか。ありがとうございます。ちなみに、連携協議会の委員も今回から新しくなっているのですよね。ただし、指名ではないのですでに決まっていると、これは資料1の15ページを見ていただきますと、連携協議会は指名ではなくこういう構成員だと決まっているということです。今回に関しても前回に引き続きこのメンバーで連携協議会は構成されるという認識でよろしいですね。連携協議会委員の皆様、これからよろしく願います。それでは次の協議案件に移りたいと思います。協議案件4 事業進捗管理と評価について、内容が多岐にわたりますので、区切りのいいところで順に切っていきたいと思います。まずは資料4-1-1について、会議として実施している網形成計画に従った進捗状況の報告についてお願いしたいと思います。

協議案件④

事務局 (資料に基づき説明)

座長 ありがとうございます。皆さんと共に策定をした網形成計画の平成30年度の事業進捗状況の自己評価になりますがこれに関してご意見ご質問ございますか。あくまでも案でございますので、これは赤ではないんじゃないの、といった話でも構いませんし、あるいはここは色を塗ってもいいんじゃないのというのでも構いません。総じて、計画は完璧とは言いませんが、概ね順調に計画通りに進んできているのではないかなと思います。多少早めに取り組むべきだったものもありますが、計画年度ちょうど折り返しを過ぎたところですが、だいたい予定通りに来ているのではないかということになりますが、課題となりますのは先程ありましたように、市民サポーターによる乗降補助、バスの乗り方サポートといういわゆる市民の方々にお願いするところが今一つ踏み込めていないということになっています。いかがでしょうか。事務局として何か方策は考えられていますか。

事務局 市民サポーターによる乗降補助、他の自治体ですと子どもさんが夏休み期間中お年寄りのお話し相手もかねて乗込むといった素敵な活動をしていただいているところもあります。私共の方でも各コミュニティバスさんの事情はあると思いますが、その中である地区で一緒にお

話をさせていただいている内容なんですけれども、やはり乗込み客数が減ってきていると、どうしていくかという今使っていただいている方がお友達1人誘って乗れば倍になるのではないかという話をさせていただいております。それに加えて各地域の民生委員さんなどが普段のお話の中で一緒にお買い物に行くかとか、そういうかたちでバスを使ってお買い物に一緒に行っていただくとか、そういったこともできないかというお話も出ております。強制というわけではありませんが地域づくりの取組の中でこういうかたちの市民サポーター、名前は別になるかもしれませんが、そういったかたちでみんなで乗りあってバスを使っていこうという取組をぜひ推進させていただければと考えております。

座長 乗降補助は今難しいかもしれませんね。車内事故防止のために、車内で立っていたりするのは危険なので、できるだけ避けた方がいいと思いますので、誰かが乗っていて乗降を補助するというのは時代的に難しいかもしれません。一方でお出かけを皆さんで、一緒に買い物に行きましょうとか、それによって乗り方をサポートというのは素晴らしい取り組みだと思っていますし、各地域で進めていただければありがたいかなという気はしております。そんなことが実際に起きることを期待したいと思います。その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、計画の推進状況ということでは皆さんにご承認いただいたと。残念ながらいまだ色が塗られていないところがありますので、最終的にはこれが全部色がつくように皆さんにご協力をお願いしたいと思います。市民の方のご協力が必要なものは、事務局だけではどうにもなりませんので、ぜひここにお集まりの皆様のご協力をお願いしたいと思います。それでは、続きまして4-1-2、4-2の利用実績の報告をお願いします。

事務局 (資料に基づき説明)

座長 ありがとうございます。各公共交通の利用実績、乗込み調査の結果についてご報告いただきました。これに関してご意見ご質問あれば何なりといただきたいと思います。いかがでしょうか。

委員 度々こういうお話をしますが、特にナッキー号、平成30年度の利用者数を見ると年々利用者の方が多くなっているというところで、網形成計画にありますナッキー号の再編に関しましても早急に着手するべきものではないかと、提案をさせていただきます。また、特に乗降の多い区間に関して、桔梗が丘駅からアピタ名張店での乗降が多いですが、アピタ名張店がドン・キホーテに替わるということで、乗降がどうなるかなというのが気になるところでございます。その代わりにイオンに行く人が増えるのではないかなと、お客様の動向が注視されるのではないかなとっております。先程申し上げました通りナッキー号につきましては以前から申し上げておりますが少ないキャパの車両でかなりのお客様を運ぶというので、限界が来ているのかなと思い、再編に早急に着手していただきたいと思いますので、お願いいたします。

座長 ありがとうございます。早めの再編、キャパシティがいっぱいいっぱいということ、それからアピタ名張店がドン・キホーテに替わるということで、事務局で何かございますか。

事務局 ナッキー号につきましては年々利用者が増加しており、事務局としては非常にありがたいことだと思います。市街地循環バスとして多くの市民の皆さんに認知いただき利用されていることをありがたく思います。おっしゃる通り、ナッキー号に使用されている車両につきまし

ては、小型のバスで定員が33人ということ、さらに平成16年から運行しており、非常に老朽化しているということも運行委託先の三重交通さんから聞いています。そういった関係で車両の更新は三重交通さんと相談をしながら検討を進めているところではあります。一回り大きいバスになると中型バスで現在のバスよりも長くなりますので、現在のルートでそういった大きなバスが運行できるかといった課題がございますので、事務局含め連携協議会、事業推進部会含めて相談をしながら今後の車両選定について考えていきたいと思っております。

座 長 ありがとうございます。それから、アピタがドン・キホーテに替わるのはいつなのでしょう
か。

事務局 聞かせていただいておりますと、9月の初旬に替わるそうです。現在、アピタ名張店は一部の店舗を除いて休館しています。ですので、アピタ名張店が閉店する間際や乗込み調査を実施した時期にはやはり桔梗が丘駅からアピタ名張店までは非常に多くの方がご利用されまして、定員近くご利用いただいている状況も乗込み調査の中ではありました。ですので、おっしゃる通り現状のままでは大型化を考えていかなければならないと思います。ドン・キホーテに営業形態が替わった後の利用状況も確認しながらそのあたりも検討していきたいと思っております。

座 長 ありがとうございます。ちなみに自由意見の中の「マイクロバスにしてほしい」というのは
どういったことでしょうか。

事務局 今回のバスは座って乗っていただける方が少ないのでマイクロバスにすると座って乗って
いただくということが基本になると思いますので、座席数が多い方がいいということでマイク
ロバスにしてはどうかというご意見だと思います。

座 長 なるほど、ありがとうございます。コミュニティバスの宿命ですが、立って乗っているとい
うのはあまり想定したくないですね。お年寄り中心なので皆さん座って乗ってもらうものだ
と思います。一方で利用促進をしていっぱい乗ってもらおうとする。そしてたくさん乗って
もらうと今度は立たないといけないというジレンマがあります。本当は喜ばしいことな
のですが、一方で座れないという問題も抱えるということで、皆さん車両の大きさやダイヤ・ル
ートの工夫をしながらできるだけ多くの人に乗りいただきかつ座っていただける、そんな
環境を作っていく必要があるのかなと思います。その他いかがでしょうか。

委 員 今回の問題に関連することもあるかと思いますが、ナッキー号の自由意見を見てもらいますと、
日差しがまぶしいのでブラインドが欲しいなど簡単に対策ができるような意見があったと
思いますが、こちらは事業推進部会の方でもなるべく早急に対応したいというところ
です。また、ナッキー号が大型化するかもしれないという話でしたが、それによってル
ートを変更せざるを得ないところもあるかと思っております。また、バス停によっ
ては利用が非常に少ないバス停もあるので、このあたりは一度見直しをしてルート
変更をした方がいいのかなと思っております。こちら部会の方で検討させていただ
いているところでございます。また、ナッキー号と他のコミュニティバスと併走して
いるような区間もあるのでこちらも見直していきたいと思っておりますし、例えばス
ーパーの万代に行きたいという意見もあるので需要をしっかりと捉えながら、連
携協議会含め路線の変更、あるいはバス停の増設・変更について検討していき
たいと思っております。また、バス停の環境整備でイスを増やしてほしい、風雨を
しのげる

バス停にしてほしいなどの意見もありますので、そちらも部会を通じて早急に検討していきたいと思えます。

座長 ありがとうございます。利用者の声を聞いてすぐに改善できるところはすぐにでも進めていただきたいと思います。その辺は事業推進部会で考えていただけるということです。はたっこ号の自由意見ですが、「調査時や市役所に出向いたときに意見を伝えるが、はたっこ号やナッキー号にしても何も変わらない現状はどうか。1つでも実現してほしい」という声が出ています。やはり調査をしたら声を聞いて何かを進めていただくということは大事だと思えます。ぜひとも1つずつ改善を進めていただきたいと思います。ちなみに、4-1-2の全体の傾向として皆さんに捉えてほしいのですが、近鉄、広域準幹線、市内幹線の路線バスともに大変厳しい状況になっております。まずこの状況を皆さんご認識いただき、少しでも利用が増えるようなそんな方策を考えていかなければいけないと思っております。目標値に対して凸凹としているところはまだいいのかもしれませんが、残念ながら右肩下がりのところもあつたりしますのでこのままでは非常にまずいことになると思えます。そんな中市街地循環のナッキー号は順調に増えてきているというのはありがたいことだと思っております。この辺を認識しながらより一層利用促進を進めていかなければいけないと思っております。また、乗込み調査の中で面白いと思ったことが、各バスで外出頻度を聞いていますが、2018年と2019年を比べてほとんどのコースで外出頻度が増えているんですね。これをどういうふうに読むかというのがありますが、少なくともこの地域のコミュニティバスをご利用されている方々はこのバスによって外出頻度が増えている、あるいは桔梗が丘駅前に新たに買い物施設が出店されたのでその結果増えているというものあると思えますが、全線で増えているというのはいいことだなと思えます。ただ、利用されている人は良く出歩くようになったということはありますが、利用が全部のコミュニティバスで増えているわけではないので、判断としては難しいかもしれません。外出頻度が全路線で増えているというのはいへん喜ばしいことなのですが、事務局としてはどのようにお考えでしょうか。

事務局 乗込み調査時の調査員の聞き方にもよるかもしれません。「このバスが無くなることによって皆さんのお出かけは変わってしまいますか」というふうに聞くとやはり皆さんないと困りますので、おでかけにかなり影響はありますという答えをいただいているというのもあるかもしれません。ただ、ケンコーマイレージ事業との連携などもあり、バスに限らずおでかけの頻度が増えている可能性もあります。

座長 ありがとうございます。そういったこともあるのかもしれませんがね。我々としては、絶対数を見るのも大変大事だと思っておりますが、一方でこれが無いと生活できないという方がお見えで、そういう方々の生活を支えているということにもしっかりと目を向けていく視点も大事だと思えます。ちなみにみどり号の利用状況を見ますと、この会場の武道交流館いきいきでの乗降が1人もないのですが、なぜでしょうか。

事務局 ルートの都合上桔梗が丘駅の次がいきいきとなっており、緑が丘の方の利用が難しい状況なので調査期間中もいきいきの利用が無いのかなと思えます。

座長 ここでは市民の方が交流するようなイベントは行われていますよね。

事務局 当初みどり号のルートにはいきいきは入っていなかったのですが、緑が丘地域以外の方でい

きいきに行くのにみどり号を利用してもらえるようにルートを変更したというのがありますが、その周知がうまくいっていない可能性もあると思います。

座長 せっかくルートも変えたのでもっと周知をして利用してもらいたいですね。事業推進部会でその点工夫をお願いしたいと思います。その他、日頃使っていて感じていることなどございましたらお聞かせいただければと思います。ナッキー号は混んでいて座れないというご意見もありましたが、何かございませんか。せっかく来ていただいているので市民公募の方、ぜひ意見をお聞かせください。順番をお願いいたします。

委員 ナッキー号は何回か利用したことがあります。乗車と降車の状況を見ますと私はよく図書館を利用するのですが、図書館での乗車は少なく、降車の方が多くなっています。ナッキー号は片方向運行なので、行きか帰りは乗車時間が長いということがあります。往復運行になればもっと利用しやすいのではないかなと思います。費用の面もあり難しいとは思いますが、検討していただければと思います。

座長 ありがとうございます。ではお次の方。

委員 コミュニティ交通の利用状況を見ますと29年と30年で減少率が5ルートすべて減少しています。75歳以上の方は増加しており、免許返納者もより一層増えてくるかと思えます。そうなる外出するにはコミュニティバスなどに頼らないといけないと思えます。家族の送迎もあるかもしれませんがそれは少ないと思えます。高齢者がずっと家で引きこもるということにもなりかねないので、今後の見通しとしてこのまま減少していくのか他の方法で外に出てもらおうのかという両方の面から考えていかないと大変なことになりかねません。そのあたりどう考えているかをお聞きしたいです。

座長 ありがとうございます。この現状がこのまま続くのか、閉店の影響もあったようですが今年度の状況と見通し、それから交通政策として免許返納された方の交通の確保等の考え方をご説明お願いいたします。

事務局 乗込み調査含め各運行事業者さんとお話する中で、どの地域でも言われるのは高齢化が進んで今まで利用していただいていた方が、バス停まで到達するのが困難になってきているということです。そういった中でほっとバス錦さんですと小型の車両で運行し今後はよりきめ細かくバス停の配置を検討していくといったバス停までのアクセスを容易にしようというお話がある一方で、実際に公共交通を利用している方、まだしていない方皆さんのご意見としてはどちらかというとドアツードア型、個別輸送に近いものを希望される方が多いです。実際公共交通と合わせて福祉的な施策、福祉有償運送や地域による支え合いの活動といった公共交通以外の移動手段も確かにございます。その中で公共交通として担うべき最低限のサービス水準をこの会議の中で見極めていただいてその取り組みでカバーしきれない部分は福祉の施策などで皆様の移動をさせていただくという役割分担になるのかなと考えておまして、先ほど事業の進捗の中でもありましたが、定時定路線のバスに加えてタクシー事業者さんが個別輸送に関してノウハウやスキルがございまして、タクシー事業者さんと連携し、細かなニーズを拾っていけるよう検討を進めていきたいと考えております。

座長 ありがとうございます。おそらく利用者数は31年度は回復することだと思います。桔梗が丘駅にぎゅーとらさんがオープンしましたし、実際に利用は増えているようですのでこれは

大丈夫だと思います。一方で、ラストワンマイルという問題、バス停まで歩けない方が増えてきている中で、その方々に向けて福祉的な意味合いも含めながら新たな交通手段の導入についてもこれから検討していきたいということでございます。地域でのおでかけの創出などということですが、何か取り組み等ございましたらご紹介いただければと思います。

委員 地域を取組ということでは、地域づくり組織の活動の中の1つとして、この公共交通について取り組んでいただいております。名張市の協働事業の一環としてバス停の改修などにも取り組んでいただいております。また、皆さんがおっしゃるように家に引きこもってはいけませんので、お出かけのきっかけづくりにも着眼し取り組んでいただいております。それとは別に、網形成計画の中で赤目地域の方が今移動支援に取り組んでいるので、コミバス導入の計画を網形成計画に残していくのか、見直していくべきなのかというのが気になっていたのですが、そのあたりは地域の意向もあると思いますが、代替のサービスを検討していく中で、公共交通会議の中で赤目地域の新設路線の検討については再検討していただいた方がいいと思っております。

座長 ありがとうございます。地域でのおでかけの取組は色々行っていただいているということですから。赤目地域の話が出ましたが、いかがでしょうか。

事務局 計画策定当初、赤目地域についても公共交通が必要だと導入を目指した計画の内容にさせていただいております。ただ、赤目地域については定時定路線型のバス、それに加えてデマンド方式など色々検討をさせていただいたのですが、地形的な制約や現在ご利用していただける方のご意向を含め地域の皆さんの判断として、公共交通というよりも移動支援でサポートしていきたいということで取組を進めていただいております。そういった状況ではあります。事務局としては赤目地域が交通不便地域であることは変わりませんので、誰もが乗れる公共交通が必要だと考えています。ですので、事業の主体そのものが赤目地域の皆さんということにはならないかもしれません。というのは、もしかすると今後の協議の内容でほっとバス錦さんが一部運行していただくとか別のかたちの運行体を考えるなどのかたちで誰もが乗れる公共交通を作りたいということで、その方針については今のところ変えていません。

座長 ありがとうございます。

委員 2つほどお聞きしたいのですが、今コミュニティバスは決まったルートを回って終点まで運行していますが、前もって今日は〇〇に行きたいということで電話などをもらったら停留所以外も回るのかということと、ふれあいバスが百合が丘から赤目に走っていますが、見ていると大きなバスが走っていますがだいたい3、4人しか乗っていないので、ルートが悪いのか、何がどうなのかはわかりませんが、これは非常にもったいない話で、ルートや時間の変更を考えてもらったかどうかという気がしますが、この2点についてお聞きしたいです。

事務局 まず1点目でございます。予約型の運行は可能で、手続きを経てそういう運行形態を認めていただくと運行することができます。ほっとバス錦さんの方でも停留所に関わらずフリー乗降区間を設けて運用していただいている区間もあります。今後はあららぎ号でも予約型などの運行についても検討しているところでございます。2点目、ふれあいのバスについてご質

問をいただきました。こちらは社会福祉協議会が運行いただいているバスのことだと思えますが、利用実態が少ないというお話をいただきました。これまで地区は曜日ごとに限定されるような運用がございましたので、バスの利用が少ないというのがあったかもしれませんが、運用も柔軟に変更するというのもあると思いますので、ふれあいバスの運行状況については確認をさせていただきながら公共交通とうまく連携を取れるような、実際にほっとバス錦さんではほっとバス錦がふれあいバスのルートを代わりに走っておりますので、もしかすると他に重複して運行している区間があるかもしれませんので、そういったことも路線の検討の中に含めていきたいと考えております。

委員 ありがとうございます。

座長 ちなみに今予約すれば来る仕組みはできると言いましたが、バスではありえません。そうすると個別になります。ごく少ない人数を運ぶことになりますので、基本的に僕はそこはタクシーかなと思っています。ただし、公共としてそれを支えようというように考えると、それは公共サービスとしてどういう人たちをどこに運ぶかということをしつかりと議論したうえでそこに税金を投入することになるのだと思います。ただ、基本的には行きたいところから行きたいところへ行くには予約して、というのはタクシーがその機能を果たすのではないかという気はしております。2点目のふれあいバスは社会福祉協議会のバスなんですよ。そうすると福祉目的ということになりますので、たくさん乗っていただければいいというわけではないかと思えます。それはあくまでも福祉的な必要性のある方に対してのサービスでありますので、そういう方々が少ないのであればそれに無理やりたくさん乗せる必要はないのかなと思えます。だから目には付くのかもかもしれませんが、いわゆる行政サービスとして何を目的としてやっているかをしっかりと考えて目的に応じた運用形態を探っていくかといけないうのかなと思っております。それでは、次の方向かございましたら。

委員 この会議で議論することではないかと思えますが、はたっこ号の場合ですがバス停が細かく停まってもらう割に郵便局に停まらないというのを聞きます。また、1週間の聞き取りではなかなか全部声は取れないと思うので、例えばアンケートを入れてもらう箱だとか意見を書いてもらうものを作ってもらえればもう少し皆さんの意見を聞けるかなと思えます。

座長 ありがとうございます。確かにたっこ号を見ると郵便局にバス停が欲しいとあるのでまたご検討をお願いしたいと思えますが、ご意見箱は確かにあるといいと思えました。その辺、設置されているのでしょうか。

事務局 現状そういったものは各バス内に置いておりません。

座長 今すごくいい意見をいただきましたので、意見箱などの完全に回収できるような箱というのが大事だと思いますが、また部会でも検討していただければと思います。どうもありがとうございました。その他、全体を通して何かございせんか。

委員 私は、連携協議会を任されている関係で、お話が出ている中で2、3回答させていただきます。まず、乗込み調査の結果についてご意見がありました。乗込み調査はバスを利用している人を対象に調査しています。利用していない人への調査の方が重要です。でも、ただ乗っているけれどももっとこうしてほしい、こうすれば利用も増えるというところからの考え方だという角度からいろんな意見を見た方がいいと思えます。また、利用者の高齢化により

バス停まで歩くのがしんどいといったこともあります。ただ、今私は70歳ちょっとですが、もう5年もしたらバスが欲しいと思うと思います。私たちの年代から10年くらいの間猛烈に高齢者が増えていきます。だから、今躓きかけているからバス路線を変えていくのではなく、現状維持からはじめていき例えばバスがあるから免許返納しようというところまで持っていこうというコンセプトがなくてはいけないと思います。それから、中学・高校生がなぜコミュニティバスを通学に使えればいいのか、なぜできないか。それは原資の問題です。朝の7時にバスを動かすことが大変で、我々は事業者さんに無理を言って年間これだけのお金しかありませんと、これでなんとかやってくださいと頼みこんでしているわけです。そうすると朝の7時半にスタートしてください、帰りも午後7時くらいまで本当は運行したいなどと考えます。そこで大きな問題は原資です。お金がかかるのをどこでどうケアしていくか、そこが1番の課題です。例えば私も市民センターで会議があった後1杯飲んで帰るときに2000円のバスがあればどれだけでいいかと思います。いわゆるコミュニティバスは何のために回しているのかという原点を見直してもいいかなと思います。お金さえあればできますが、お金が無いので路線バスが廃止するのを民間の我々でやってくださいというので始まったのが今のコミュニティバスです。その辺をどう対応していくか、乗車率を増やすには便数を増やせば増えます。だから、増やす方法をこの1年かけて考えていきたいと思います。また、福祉バスのお話がありました。あれは名張の町中に社会福祉協議会のふれあいという建物があり、お風呂に入れたりちょっとした遊びができて、ケアマネジャーがいたりするのですが、その送迎用のバスです。各地域週に1回回っていて、地域のお年寄りがそれを楽しみにしていますが、だんだんふれあいの利用者が減ってきています。それは施設の老朽化とかいろいろなことがあり利用率が低下しているので、バスに乗る人も少ない。バスは年間契約で三重交通さんをお願いしています。何かにつけましても乗込み調査の結果というのは乗っている人への調査というのが大前提で、だからこういう回答が出てきます。もっとほかの回答があるのではないかというのは、地域へのアンケート調査が大事になってくると思います。今後連携協議会の中で進めてまいる課題の1つと考えています。以上です。

座長 ありがとうございます。おっしゃる通りだと思います。一方で、利用者の声にすら応えられないバスはさらに利用が減っていくということになりますので、まずは利用者の声を真摯に聞いて、利用者の方々にさらに使ってもらえるように、そしてその輪が広がっていくのが大事だなと思います。言われたように、何のためのバスかと考えたときに、例えばこれからの名張には通勤・通学が必要なんだ、税金を使って支えようというのであれば、非利用者の声を聞いてさらなる利用者の確保を目指していくということだと思います。そこは時代によって変わってくると思いますので、全体として考えながらどこをターゲットとして調査していく必要があるかなと思います。どうもありがとうございました。以上でよろしいでしょうか。状況ということでご認識いただきながら、少なくとも改善点が見えておりますのでそこに向けては中平先生中心に進めていただければと思います。それでは次の資料4-3-1から4-3-6のご説明をお願いします。

事務局 (資料に基づき説明)

座長 ありがとうございます。各バスごとに自己評価をしていただいてその評価を受けて連携協議

会での意見を付しております。さらに地域公共交通会議としての意見を今からまとめたいと思います。お気づきの点ございましたらどこからでもご発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。順番に見ていきましょうか。ナッキー号については、基本的には利便性を高めるように検討されたい、土日運行も具体的に検討すべき、運賃差がありますので、運賃値上げ、乗継の抵抗感を軽減するために乗継割引についても検討されたいというのが連携協議会として出ていますが、この地域公共交通会議としてはいかがでしょうか。ナッキー号だけの運賃と書かれていますが、運賃に関しては全体を通じて検討していく必要がありますので、ナッキー号個別というよりは他も含めた中での運賃体系、乗継割引も含めた全体としてどうしていくか、また再編も考えていくということでその再編にも応じた形で検討してもらうことが大事かなと思います。その他よろしいでしょうか。では基本的にはここに書かれていることですが、ただナッキー号だけではなく全体を通じた中での検討を進めてもらうということが大事かなと思っております。それから他のコースとの乗継という話がありましたので、そういったことも含めながら再編に向けて検討を始めてもらうということが大事かなと思います。

それではあららぎ号に移りたいと思います。予約型の運行についても検討する、それから名張駅までに停留所を設けてはどうかという連携協議会の意見ですがいかがでしょうか。お伺いしますが、名張駅までに寺田病院に停まるとなると重なってくる部分もあるかと思いますがその辺はいかがでしょう。

事務局 あららぎ号につきましては、国津地域と隣接する地域を結んで運行していますが、時間によって名張駅まで延伸して運行していますが、ノンストップで地域から運行しています。その中間に病院等がありますので利用したいというご意見をいただいております。重複する路線としては三重交通の路線バスがございしますが直接的にそちらの地域から乗っていただくことができない路線ではあります。

座 長 では競合はないということでもよろしいでしょうか。であればこういった途中にバス停の設置というのは全体としても問題ないかなと思います。あとは利用者が減少していますので予約型への検討も始めてもらっていいと。

委 員 あららぎ号につきましては路線が非常に複雑になっております。時刻についても地元の方は分かっていると思いますが、我々はパッと見ただけではわからないような路線と時刻の設定になっており、利用者も限定されておりますので、予約型で運行するというのも方策として考えていってはどうかと思います。病院につきましてもあららぎ号は小型の車両を使っておりますので、病院の中への乗り入れも可能だと思います。地域の方の要望もありますのでぜひとも、三重交通さんの路線とは重複しますが利用者が被るということはおそらくないと思いますので、このあたりも連携協議会を通してできるだけ早急に検討した方がいいと思っています。

座 長 ありがとうございます。予約型、寺田病院などへの乗り入れなどを考えてはどうかということでもございます。特にご異論ございませんか。ではその方向でお願いしたいと思います。次にほっとバス錦についてですがいかがでしょうか。需要調査をしてはどうか、小型化に伴って利便性を高める停留所の配置について検討してはどうかということですがいかがでし

ようか。よろしいでしょうか。では、こういった方向でいいかと思えます。

コモコモ号でございます。往復利用ができるダイヤの調整などを検討されてはどうか、ということ。これは片道の利用が多いということかと思えますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

みどり号については、定時定路線以外の運行を検討する際には地域の需要を洗い出す必要がある。また、他地域への乗り入れは利用の増加と費用のバランスを考える必要があるということですが、先ほどは予約型のバスを検討するのもありだとおっしゃっていましたが、こちらはどちらかというと需要をしっかりと洗い出ささいという書き方になっており、少しアンバランスに見えますが、こちらは連携協議会でこういった温度差があったのでしょうか。

事務局 緑が丘の地域の運行協議会では、公共交通とは別にライドシェアについても独自で研究を進めていただいているところがございます。導入についてのすすめを考えていただいているのですが、導入には慎重に考えていただきたいということもありこういったかたちで書かせていただいておりますが、あくまでも公共交通として現在の路線を大きく変えるとなった時には検討が必要だと考えております。

座長 ここに書かれているのはそういうことですか。今日本でライドシェアを実現しようとする基本的には難しいと思えますので、慎重に検討する必要があるかなと思っております。ですから、連携協議会としては、ドアツードア型のサービスの需要がある中デマンド、予約型の検討を進めていただくということがいいと思えます。いわゆる今の方の枠組みの中で実現可能で、かつ地域の方が他のニーズに合った方策といえ、1つはデマンドだと思っておりますので、デマンドの形態の検討を進めてもらってもいいのではと思えます。一方で他の地域の乗り入れは全体のバランスというのもありますので、費用、重複路線、競合路線が無いかを慎重に検討を進めてもらうということだと思えます。よろしいでしょうか。

それでは、最後はたっこ号ですが、順調に伸びているということと、また細やかなニーズへの対応、先ほど郵便局のお話も出ましたがそういった対応が望まれるということでもよろしいでしょうか。ありがとうございました。では、今言った方向で一部修正をさせていただきますが、細かい文言は事務局、会長、そして座長の方にお任せいただければと思えますがよろしいでしょうか。はい、どうもありがとうございました。それでは、残りの協議案件5、6ですがともに関係いたしますので一緒にご説明をお願いします。令和元年度事業計画案、収支予算案ということでお願いいたします。

協議案件⑤⑥

事務局 (資料に基づき説明)

座長 ありがとうございます。今年度行う事業、それから事業推進部会で行う計画、それに対する予算案ということでありましたが、これに対してご意見ご質問ございましたらいただきたいと思えます。いかがでしょうか。

委員 免許返納者への優遇というところで、現在運賃が半額されていると思えますが、この半額の期間はいつまで続くのか、永久にずっとしてもらえるのかというのが1点と、免許返納優遇措置の導入の検討ということでのどのような検討をされているかをお聞きしたいのですが。

- 座長 資料5-1の公共交通利用促進(2)公共交通の利用を促進する事業の③の免許返納者への優遇に関してだと思いますが、いかがでしょうか。
- 事務局 この項目につきましては現在の取組状況でございます。まず1点目の半額の措置につきましては、三重交通さんの路線バスで三重交通さんが実施いただいているものですので、そのあたりは三重交通さんの方からご回答いただければと考えております。加えて、免許返納者への優遇措置につきまして、具体的な検討にはまだ至っていませんが、各部会では、免許返納をした方に対する助成というよりは、免許返納をする前にしっかりと使える公共交通を作っていこうねということと、返納されただけではなく広く高齢者の方に優遇措置を作ることによって公共交通の利用促進につながるのではないかとのご意見をいただいているところでございます。
- 座長 優遇措置の検討は9月からということで、まさにこれから検討していくこととなりますね。その時には皆さんから色々ご意見をいただければと思います。せっかくですので三重交通さんの優遇措置、素晴らしいものを導入されているなどと思えました。周知も含めてご案内いただければと思います。
- 委員 先ほどご質問いただきました免許返納制度に関しましては、現在ホームページなどで周知をさせていただいておりますが、免許返納をされて運転経歴証明書をお持ちの方が対象で、年齢制限はございません。ですので、高齢者の方ではなくても対象とさせていただいております。先程永久的にこの制度が続くのかということに関しまして、当社の方では永久ということとは謳っておりませんが、無くなるということや期限を設けているわけではございませんので、引き続きこの制度は続いていくのではないかとこちらで対応させていただいている次第です。
- 座長 ありがとうございます。ちなみに、運転経歴証明書を持っていくと年間いくらかで半額になるのでしょうか。どのようなかたちでしたか。
- 委員 こちらは提示いただくと普通運賃の半額というかたちになり、年間いくらかという制限はございません。ただ、一部の高速路線は適応外になりますが一般の通常路線では適応されるかたちになっています。
- 座長 そしてそれは運転経歴証明書を取ってからずっと半額で乗り続けられるのですか。
- 委員 はい。それと、それぞれ1か月、3か月など定期券というかたちでセーフティーパスがご購入いただけて、フリーパスというかたちで乗っていただけるものと、証明書を提示いただくと半額になるサービスをしています。
- 委員 補足ですが、免許返納をすると運転経歴証明書という免許証サイズのものでございます。それを降車時に提示いただきますと半額になります。もう1種類は購入時に私どもの売り場の方に持ってきていただきますと年間、半年、3か月、1か月というフリーパスを販売しております。パスは見せるだけで降車していただけます。その2種類がございます。
- 座長 なるほど、2種類あったんですね。素晴らしい取り組みだと思っております。ホームページは高齢の方はなかなか見られないので、ホームページ以外にもぜひチラシをこういった場で毎年度配布してもらおうとともに、行政の広報などが置いてあるラックに置かせてもらおうとか、駅や商業施設に置いてもらうなどしていただければいいと思いますので、そういった周

知をお願いできればと思います。願わくば行政をお願いして各自治会や老人会さんにも配ってもらうといいですね。そうしないとなかなか広がっていかないと思います。ホームページというのは若者はいいいですがそうじゃないとなかなか難しいと思いますので、すごくいい仕組みですのでやっていただければと思います。ただ、三重交通さんとして利用が増えるとプラスなんですか、マイナスなんでしょうか。まあ新規事業になる可能性はありますので、プラスだと考えてぜひどんどん宣伝してください。ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

委員 只今の資料で、待合環境の整備というところで、バスロータリーのベンチ設置があったと思いますが、地元の方は皆さんご存知だと思いますがベンチが非常に少なくてご高齢の方が乗り継ぎを立たれて待っている状況がございますので、これもそんなに難しい対応ではないと思いますので、近鉄さんあるいは三重交通さんの方でいろんな人の導線の考慮が必要だとは思いますが、ぜひとも早急な対応をいただいてそれによって、1つのサービス水準の向上につながると思われますので前向きに検討いただき早急に対応していただきたいと考えている次第です。

座長 はい、ぜひよろしくお願いたします。ベンチはすごく望まれているのですが、色々規制があって置けなかつたりするのも事実としてありますので、ぜひここにお集まりの関係機関の皆様、道路管理者の方も含めできるだけ多くのところでベンチが設置できるようにご協力をいただければと思います。その他いかがでしょうか。

委員 免許返納の話が出ておりますので、参考に。三重県では平成29年の3月に大きい道路交通法の改正がありましたが、それまでは1年間で3千数百件の免許返納があったところ、29年の3月12日に75歳以上の運転者の方が一定の違反をすると認知機能検査を受けなければなくなり、この法改正を受けてそれ以降1年間で6,000件を超える免許返納が毎年続いている状況です。それに加え本年池袋等の事故を受けメディアでも報道されていましたが、免許返納がまた加速しています。7月末現在で三重県の免許返納者数は4,703件でこれは昨年と比べてプラス1,000件です。名張市内におきましても、7月末現在で228件、プラス30件となっております。今後もさらに増加をされると思われま。免許返納ですが、私もなばりに住んでいますが、免許返納すると車がなくなり足が無くなると動きたくなくなるということで住みにくくなるのは当然のところ、こういった事故等のニュースを見たり、運転に不安を覚えるということで泣く泣く返納をしている現状だと思います。ですので、そういった方々ができるだけ住みよいまちにするために9月からの免許返納者への優遇の検討というのを私たちの方からもぜひお願いしたいと思ひます。

座長 ありがとうございます。ちなみに、免許返納に来たご高齢の方々は、例えば三重交通さんの免許返納者の割引制度のことを知ったりこれから名張で取り組むような優遇措置の案内はしてもらえるのでしょうか。

委員 そうですね。警察といたしましても県と連携し今現在実施されている免許返納の優遇制度を周知するよう計っております。

座長 ありがとうございます。その場合、決断した方ですがね。本当は後押しするという意味でもいろんな優遇措置を周知できたらいいかと思ひます。その他いかがでしょうか。よろしいで

しょうか。特に事業内容につきましてはご説明いただいた通りでございまして、それから予算ということで先程ご説明いただきましたが、今年度は特に見える化事業ということでこれは三重県さんの方で進めていただいていると思いたいますがそこへの負担金ということで若干増えているということですがこれに関してもとくにご異論無いようですので、予算書と今年度の事業計画を含めてご承認いただいたということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。会議としても承認させていただいたということにさせていただきます。以上で予定の議事はすべて終了ということになりました。その他の項目で何かございますか。

事務局 事務局の方からは特にございませんが、本日お配りをしております都市構造の可視化計画について整備局さんの方からご説明をいただきたいと思いたいます。

オブザーバー (中部地方整備局高柿氏より都市構造可視化計画 Web サイトについて資料に基づき説明)
座長 ありがとうございます。私もよく利用させてもらいますが、すばらしいもので面白いのでもし時間がありましたら1度試していただければと思いたいます。無料で使えます。ご紹介ありがとうございました。全体を通して皆様の方から何かございますか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。今日もたくさんご意見をいただき、前半は少し慌てていたものでなかなか発言いただけなかったかと思いたいますが、ご協力をもちまして、ほぼ予定通りに進むことができました。皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございます。それでは進行を事務局にお返しいたします。

事務局 ありがとうございます。皆様のご協力がありまして円滑な議事進行となりました。ありがとうございます。それではこれをもちまして令和元年度第1回名張市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。